

## コミュニティ・スクール情報

## コミュニティ・スクール研修会開催

平成29年12月1日(金)に、日野町山村開発センターで、コミュニティ・スクール研修会を開催しました。午後7時30分からの開催ではありませんでしたが、保育所、各学校の保護者の皆様、各団体の委員の皆様を中心に、49人の参加がありました。

## 〈内訳〉

保護者(保育所、小・中学校)	17人
教育委員・社会教育委員・青少年育成会委員	13人
学校評議員・学校関係者評価委員	11人
民生児童委員・主任児童委員	9人
上記以外の町民の皆様	3人
教職員	5人
町外からの参加者	2人

※委員を兼務されている場合がありますので、合計数は参加者数と一致しません。

研修会では、文部科学省初等中等教育局コミュニティ・スクール推進委員の梶原敏明先生に、「コミュニティ・スクールとは ～地域とともにある学校づくり～<学校と地域はオシドリのように>」と題して、講演をいただきました。

講演の冒頭に、地域住民と中学生とが一緒になって地域づくりについて協議している大分県内の中学校での映像が紹介されました。そこには、中学生が地域住民から学び、また、

地域住民が中学生と関わることによって生き生きと活動している姿がありました。

講演の中では、

- ・今後の予測不可能な時代を生き抜く力を子どもたちに培っていかなくてはならない。
- ・その力を培うには地域や家庭が持っている教育力が必要であり、地域と連携、協働した学校教育を展開することが望まれる。
- ・そのためのツール(仕掛け)として、コミュニティ・スクールは有効である。
- ・学校と地域とが目標を共有し、子どもたちを育てていくために参画することが大切である。

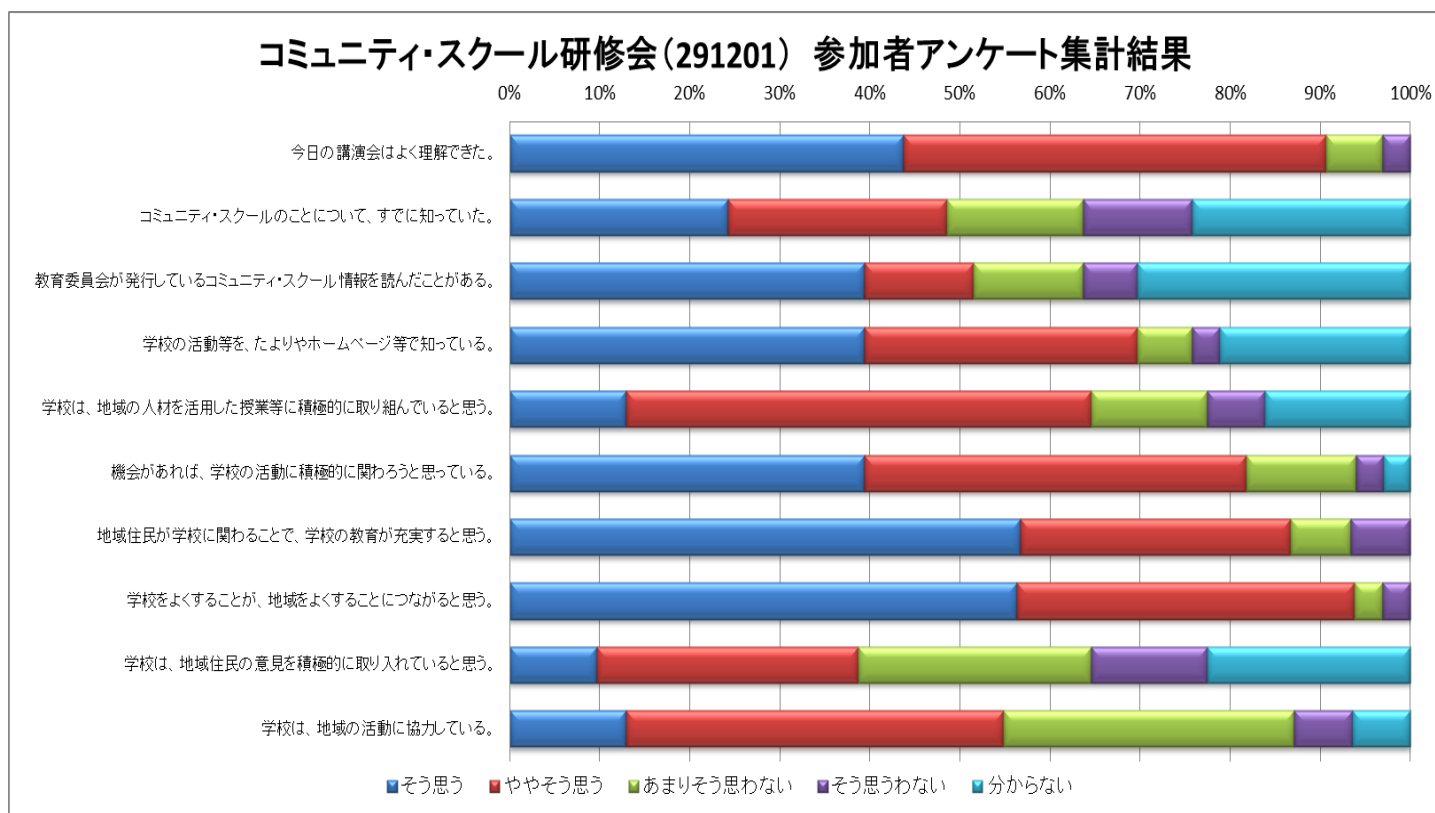
というお話をいただきました。

講演の最後には、熊本地震で被災した益城町では、コミュニティ・スクール(学校運営協議会)が機能し、地域住民の理解と協力のもとで学校教育が行われたという事例を紹介いただきました。



## 参加者アンケートより

研修会の後、参加いただいた皆様にアンケートにご協力をいただきました。その結果は、以下のとおりです。（回収率 70.2%）



### 《感想・意見》

- 日野町は、地域へ出かけての学習や保護者が参加する会がわりとあり、協力的と思う。これから先も同じかと言えば、保護者のカラーが変わってきている。
- まず、おとなが地域の魅力を子どもに伝え、行事等への参加をすすめていかなければいけないと思う。
- 地域の子どもの育成、町の発展に向けて、コミュニティ・スクール導入を進めていただきたい。期待しています。
- コミュニティ・スクールの重要性が、以前より理解できた。
- 学校のためのコミュニティ・スクールでなく、地域のためのコミュニティ・スクールだと思った。それが、子どものためになるのだろうと思った。
- はじめて聞いて、まだ理解が不十分なことが多いが、いろいろな意見を交換できる場があることはよいと思う。少子化で子どもの人数が減っていくので、地域のおとなや資源が関わっていくことで、いろいろな関わり、活動の場となり、デメリットもメリットになると思いました。

アンケート結果を見ると、「地域住民が学校に関わることで、学校の教育が充実すると思う。」「学校をよくすることが、地域をよくすることにつながると思う。」と感じておられる方が、非常に多くいらっしゃいます。また、「機会があれば、学校の活動に積極的に関わろうと思っている。」とご考えてくださっている方も多く、とても心強く思いました。

地域の学校であるという意識のもとで、地域の皆様と学校とが同じ目標をもって、子どもたちを育てていけるよう、ご理解とご支援、ご協力をお願いします。

学校支援ボランティアの皆様などにお世話になった活動 ～9・10月～

ふれあいの秋

手話学習：—黒坂小・全校—（9月19日）

県立鳥取聾学校ひまわり分校 浦木コーディネーター ～「聴覚障がいのある人・ない人」～

ありがとうの花♪



「手話歌」「自己紹介」「あいさつ」「数字・曜日・天気」「好きな動物・もの」

敬老参観日—黒坂小（9月22日）・根雨小（9月30日）—

お菓子づくり「あんバターワッフル」

年々、上手になって  
います！



祖父母、保護者そしてボランティア講師のみなさんと一緒にふれあう1日

グラウンドゴルフ



けん玉

お手玉



おり紙



竹でっぼう



みんな一緒に『元気ヨガ体操』を楽しもう—根雨小3・4年— (9月25日)

『ヨガ』は、体と心がなかよくなるように～

けんかをしていただけ、心がすっきり

## 人権教育の秋～つながる保小中高～

小小交流「車いすバスケット」  
—黒坂小・根雨小5・6年— (10月23日)

えっ！コーンがあって  
自動車を入れられない！



講師：福永幸男さん  
(県車椅子バスケット協会理事長)



高校生との交流「車いす体験」  
—根雨小4年— (10月20日)

ティップオフ

車いすの人の気持ちが  
分かった！



人権教育参観日：「盲導犬リズとともに」～田淵ひとみさん～ —黒坂小5年— (10月24日)

☆☆☆うれしいことは、盲導犬と一緒に皆さんに出会えることです！☆☆☆

視覚障がいのある人が『白杖』をあげているときは、困っているときです！

SOS



4つの気  
元気 勇気 やる気 感謝の気

